

講壇点滴

思い切つて大胆に語る

使徒言行録四章 二三〜三一節

牧師 姜 俔 米

最初の教会の伝道は、使徒たちの力強い働きによってなされていきました。三章の初めには、ペトロとヨハネが、エルサレム神殿の門前で、生まれつき足が不自由だった男を癒したことが語られています。この奇跡に驚いて集まって来た人々にペトロは、イエスのみ名こそがこの人を癒したのだ、イエスこそ神が遣わしてくださった救い主メシアであると語ったのです。ペトロのこの伝道によって多くの人々が主イエスを信じ、教会に加わりました。

しかしそこには妨害も起こって来ました。ペトロたちは神殿の責任者たちによって逮捕され、ユダヤ人の指導者たちから、おかしな教えをして民衆を煽動する者として取り調べられたのです。しかし二人は最高権威者たちの前でも圧倒されることなく、力強く証しをしました。その結果翌日には釈放されたのですが、教会の伝道は最初からこのような妨害、困難がありました。

さて、ペトロとヨハネが逮捕され一晩留置されていた間、教会の仲間たちが集まって彼

らのために祈っていました。伝道のために逮捕され、苦しみを受けている使徒たちのために、教会の人々が集まって熱心に祈っている、そういう最初の教会の姿がここに示されています。二人が釈放されて仲間のところに行つたというその「仲間のところ」とは、仲間たちが集まって彼らのために祈っている、その場所に行つたということです。そして、そこで起こったことを全て報告したのです。このように、教会全体が使徒たちの伝道の働きを覚え、祈り、支える。伝道とはそのようにしてなされ、進展していくものです。

伝道は教会の業であり、教会のみんなが担い、共有すべきものです。実際に奇跡を行なったり、み言葉を語ることは使徒たちがしているとしても、教会に連なる人々が、そのことを覚え、祈り、支えることを通してそれを共有し、それに参加しているのです。ですから、伝道は元気に体を動かせる人だけがすることではありません。たとえ教会に来ることがやつとの人や寝たきりでなんの活動もできない人であっても、祈ることによって、教会の伝道の働きを共有することができます。自分では体を動かして何かをすることができなくても、祈りによつて伝道の業に参加することができますのだし、そういう祈りが実際に働きをしている人々を力づけ、支えるのです。伝道は教会の仲間たちと共に、祈り合い、協力し合つてしていくことです。それが伝道の基本です。

(二〇二三年一〇月二十九日 公同礼拝)

第四主日(一月二四日) クリスマス礼拝

「飼葉桶に寝かせられ」 高橋和人牧師

エレミヤ 三一・一五〜一七

ルカ 二・一〜七

クリスマスイヴ礼拝(二月二四日)

「恐れるな」 高橋和人牧師・姜俔米牧師

イザヤ 九・一〜六

ルカ 二・八〜一四

第五主日(二月三十一日) 公同礼拝

「心一つにして」 姜俔米牧師

詩編 九六・一〜三

使徒言行録 五・一二〜四二

二〇二四年一月講壇一覧

第一主日(一月七日) 公同礼拝

「神が合わせられたもの」 高橋和人牧師

創世記 二・一八〜二四

マタイ 一九・一〜二二

第二主日(一月一四日) 公同礼拝

「誰が救われるか」 高橋和人牧師

レビ 一八・一〜五

マタイ 一九・一三〜三〇

第三主日(一月二一日) 公同礼拝

「恵みのあとさき」 高橋和人牧師

イザヤ 五・一〜七

マタイ 二〇・一〜一六

第四主日(一月二八日) 公同礼拝

「新たに務める者」 姜俔米牧師

詩編 九九・九

使徒言行録 六・一〜一五